

5・6年	総合的な学習の時間	単元名 ふるさと河合を守る	飛騨市立河合小学校
ねらい	地域の防災について学び、地域での自分の役割を自覚して、考えて判断し、行動できる力をつけ、自分から地域に働きかけようとする心情を高める。		

1年間の流れ

前期：日本や世界、飛騨市、河合町の自然災害や対策について、自分でテーマを決めて調べ、発表する。
後期：自分の住んでいる地域の災害や対策について知り、マイタイムラインを作る。
自分が調べたことや体験したことをもとに、もっと調べたいことや知らせたいことをまとめて、発表する。

学習過程

- 1 飛騨市などの自然災害や対策について、自分でテーマを決めて調べて、プレゼンを作る。（11時間）
- 2 調べたことを発表し、いろいろな地域の様子や対策について知る。（2時間）
- 3 防災士による防災デイキャンプに親子で参加し、河合町の災害について話を聞いたり、災害が起きた時のシミュレーションゲームを体験したりする。（2時間）
- 4 自分の住んでいる地域の災害の特徴とハザードマップについて学ぶ。（2時間）
- 5 避難レベルの意味を理解し、避難情報の調べ方を学ぶ。（1時間）
- 6 自分の地域に合ったマイタイムラインを作る。（2時間）
- 7 作ったマイタイムラインを交流し、よりよいものにし、今後に役立てられるようにする。（1時間）（本時）
- 8 マイタイムラインをどう活用していくか、話し合い、自分ができを考える。（1時間）
- 9 今まで学習してきたことをさらに深めるために、計画を立て、準備し、実行する。（10時間）

本時のねらい

作成したマイタイムラインについて、「自分の地域や家庭にあわせて考えたところ」を紹介しあうことを通して、安全を確保するための行動は、「個々の暮らしによって違うものがあること」や「誰にとっても大切なものがあること」に気づくとともに、自然災害が予想されるときに自分にあった、より良い行動について考えることができる。

過程	活動内容	指導・援助
導入	1, 前時までを振り返る。 ・自分で作ったタイムラインについて、感想や気を付けたことを話す。	・自分と違う地域に住んでいる人とペアをつくるようにする。(2～3ペア) ・自分の地域や家庭にあわせて考えたところ＝「工夫したところ」について、丁寧に説明するようにさせる。
展開	課題 自分のマイタイムラインを交流し、さらにレベルアップしたマイタイムラインにしよう。 2, 作成したマイタイムラインを、ペアで伝え合う。 3, ペアで話をしたときに、気づいたことを交流する。 4, 「避難行動を考えるときのポイント」について整理する。	・マイタイムラインを見せながら、「工夫したところ」について説明させ、発表者の意図を確認できるようにする。 ・ハザードマップなど、根拠になるものがある場合は、それも示すようにさせる。 ・「工夫」を分類しながら板書することで、タイムラインの中にいくつかの「避難行動を考えるときのポイント（視点・行動）」があることに気づけるようにする。
終末	5, 整理したことを踏まえて、自分の「マイタイムライン」を見直す。 6, 学習の振り返りをする。	・全体交流後、作成したマイタイムラインについて見直すことで、さらに自分の暮らしと関連付けながらより良い行動について考えられるようにする。 ・見直したマイタイムラインをみながら、今日考え直したこと（より良い行動に変えたこと）について、振り返りをする。

【マイタイムラインの作成方法】

- ・国土交通省の「マイタイムライン検討ツール 逃げキッド」を利用した。
- ・前時の「『マイ・タイムライン』つくってみよう」では、それまでに学習した内容の短冊（移動を始める・避難しやすい服装に着替える・持っていくものを準備するなど）を使って、やる順番を自分の家に合わせて考えて、シートに貼っていった。短冊にない追加したいことは、自分で書いて、つけたした。

（児童の様子）

【自分の地域や家庭に合わせて考えたこと】

- ・ペットのえさの準備は、自分の避難準備ができてからやることにした。連れていくかどうかは、家族で相談する。自分は連れていきたいけど、避難所には、犬が苦手な人やアレルギーの人がいるかもしれない。
- ・大事なものを2階に上げる。→時間があればする。自分の準備を優先する。必要性があるものから、順に考えた。
- ・「必要なものを確認する」のは、荷物がいっぱいにならないように、本当に必要なものだけ入れる。命が最優先だから。
- ・初めに、準備がしやすく、いつでも逃げられるように、「自分の服を着替える」を選んだ。
- ・「自分の服を着替える」ことは、パジャマでもいいので、入れなかった。安全が第一優先でできた。
- ・どうしても大切なものがあるので、すぐにもっていけるようにする。だから、着替えず、そのまま逃げる。
- ・おじいちゃんの薬をどうするか。
- ・持っていけるものの量が限られているので、必要なものだけに減らすようにしたい。
- ・避難所まで遠いので、車で行けるときに、避難する。

【授業を終えての児童の感想】

- ・もし、災害が起きそうになったら、慌てず、マイタイムラインを見て、行動できたらと思った。
- ・自分の大切なものを早めにまとめて、避難するようにしようと考えた。防災リュックがあるので、その中に全部入れて、後で確認したいです。
- ・水害は、突然来るわけではないので、その間にできることがあることが分かった。
- ・災害が起こったとき、自分がどのような行動をとればいいのかや、どのような準備をすればいいかということが分かった。
- ・あまり気にしていなかったことも準備しなければならないことや、家族やペットのことも、もう一度考えないといけないと思った。みんなには、みんなの考えがあることが分かった。
- ・自分が災害前にどのようなことをすればいいかということを、整理することができた。そして、避難しなければならない場合は、物の準備や着替えなどをせず、自分の命優先でいきたいと思った。
- ・マイタイムラインは、避難袋に入れるか、家の壁に貼りたい。

【マイ・タイムラインを作ってみて】

- ・災害について、避難所の場所や防災リュックの存在は知っていても、漠然と、「避難所に行く」ことしか、意識がなかった。そこで、ハザードマップ（土砂災害危険地域・洪水浸水地域）、川の水位情報や河川ライブカメラから情報が得られることを知り、「いつ、にげたらいいのか」「情報はどこでわかるのか」「自分の家に合わせて作るなら・・・」という新しい視点から、マイ・タイムラインを作成することができた。災害が起きてから避難するのではなく、起きそうになったら、情報をあつめ、準備を始めて、避難できるうちに避難しなければならないということを理解することができた。
- ・マイタイムラインは4年生の社会科で、台風など気象の学習は5年生の理科で学習するので、社会科・理科で学習することと総合的な学習の時間にやることと、教科を分けてもよいと思う。

